
 一般論文

母親同士の関係づくりのための子育て支援センター職員の配慮・工夫 ～子育て支援センター職員へのインタビューを通して～

Consideration and Ingenuity of Childcare Support Center Staffs to Build Relationship Amongst Mothers ～ Through Interviews with Childcare Support Center Staffs ～

武井里紗, 山内淳子
Risa TAKEI, Junko YAMAUCHI

概要

本研究では、「地域子育て支援拠点事業」を実施している子育て支援センターの職員へのインタビューを通して、母親同士の関係づくりのために子育て支援センター職員が行っている配慮や工夫について具体的に明らかにしていくことを試みた。調査対象は、X県内の4つの子育て支援センターの職員、各センター1名ずつの計4名であった。インタビュー回答を内容にそって分類していった結果、「言葉がけによるきっかけづくり」「環境構成によるきっかけづくり」「グループづくり・イベント開催」「母親の主体的な活動へのサポート」「子ども同士の関係への配慮」「母親の個性をふまえた配慮」「関係構築の基盤となる母親の心の安定への配慮」の7つの大カテゴリーが設定された。これらの大カテゴリーは「関係構築の基盤となる母親の心の安定への配慮」を除き、さらに細かい小カテゴリーに分類された。

I. 研究の目的

現在、日本では、核家族化、地域関係の希薄化による子育て中の親の孤独感や不安感の増大が問題となっている。これに対応するため、「地域子育て支援拠点事業」を担う子育て支援センター等には、「子育て親子の交流の場の提供と交流の促進」が果たすべき重要な役割の1つとして求められている（厚生労働省2017）。「子育てが不安だったが、同年代の親子と一緒に過ごす中で楽な気持ちになった」「子育てを助けてもらえる友人ができた」といった利用者からの声が厚生労働省発行の冊子（厚生労働省2007）で紹介されるなど、取組が推奨されている。

他方で、母親同士の関係構築の困難性の指摘もある。中山（2014）は、「子どもの教育についての考え方の違いや金銭感覚の違いに悩む母親も多

く、ママ友は重要な対人関係であるとともに、しばしばネガティブ感情や対人葛藤を生じさせるようである」と述べている。こうした指摘からは、子育て支援センター等が子育て親子に交流の場を提供し交流を促進しようとする際には、母親同士の良好な関係構築のためにさまざまな配慮や工夫が欠かせなくなっていることが推察される。この点に注目した研究としては、母親同士の関係構築の視点から子育て支援センターにおける環境構成のあり方について考察したもの（杉江2010）があるものの、子育て支援センター職員が環境構成以外にも多様に行っていると思われる母親同士の関係づくりのための配慮や工夫について具体的に明らかにした研究は見当たらない。

そこで、本研究では、「地域子育て支援拠点事業」を実施している子育て支援センターの職員へのインタビューを通して、母親同士の関係づくり

のために子育て支援センター職員が行っている配慮や工夫について具体的に明らかにしていくこととした。

II. 研究の方法

調査対象は、X県内の4つの子育て支援センター(A,B,C,D)の職員、各センター1名ずつの計4名であった。4名の職員は全員、保育士または幼稚園教諭の資格免許の片方ないし両方を有していた。4つのセンターはいずれも、「地域子育て支援拠点事業」を実施しており、2つは保育所付設、1つは幼稚園付設、1つは市から委託されたNPO法人が管理する子育て支援センターであった。調査日時は、2017年7月12日、13日、8月3日、10日であり、1日に1センターを訪れた。調査手続きは次の通りであった。母親同士の関係づくりのために、子育て支援センターの職員が行っている配慮や工夫について半構造化インタビューを行った。インタビュー時間は、1名につき約30～45分であった。会話内容は了承を得たうえでボイスレ

コーダーにて録音し、後日すべて文字化した。個人のプライバシーへの配慮を約束したうえで、調査結果を公表することへの了承も得た。

III. 研究の結果と考察

1. インタビュー回答の全体的傾向

インタビュー回答を内容にそって分類していった結果、表1に示す通り、「言葉がけによるきっかけづくり」「環境構成によるきっかけづくり」「グループづくり・イベント開催」「母親の主体的な活動へのサポート」「子ども同士の関係への配慮」「母親の個性をふまえた配慮」「関係構築の基盤となる母親の心の安定への配慮」の7つの大カテゴリーが設定された。これらの大カテゴリーは「関係構築の基盤となる母親の心の安定への配慮」を除き、さらに細かい小カテゴリーに分類された。なお、表1の○は、A～Dのどのセンターの職員のインタビュー回答に該当するものがあつたかを示している。

表1 子育て支援センター職員が母親同士の関係づくりのためにに行っている配慮・工夫

大カテゴリー	小カテゴリー	A	B	C	D
言葉がけによるきっかけづくり	初めて来た人への言葉がけ	○		○	○
	母親同士の会話が始まるような言葉がけ	○	○	○	
環境構成によるきっかけづくり	製作などの遊びのコーナーの設定			○	
	交流がうまれやすい適度な大きさのスペースづくり	○	○		
	親子の写真の掲示		○		
グループづくり・イベント開催	いろいろな人と交流できるようなグループづくり				○
	共通点のある母親が集まれるイベントの開催			○	
	楽しい体験を共有できる機会づくり		○		
	母親同士が声を聴き合う機会づくり	○			
母親の主体的な活動へのサポート	それぞれの母親が得意なことをいかせる機会づくり		○		○
	母親たちの主体的なサークル活動へのサポート		○	○	○
子ども同士の関係への配慮	子ども同士が仲良く遊べるような配慮		○		
	子ども間でトラブルがあった際のサポート	○	○	○	○
母親の個性をふまえた配慮	他の母親と関わりたがらない母親へのサポート			○	
	他の母親との関わり方に不安を感じる母親へのサポート				○
	自分らしさを出せない母親へのサポート			○	
	発達の違いに不安を感じる母親へのサポート		○		
関係構築の基盤となる母親の心の安定への配慮	—				○

2. 「言葉がけによるきっかけづくり」に該当するインタビュー回答内容とその考察

「言葉がけによるきっかけづくり」に分類されたインタビュー回答は、さらに「初めて来た人への言葉がけ」と「母親同士の会話が始まるような言葉がけ」に分類された。

「言葉がけによるきっかけづくり：初めて来た人への言葉がけ」に該当するインタビュー回答を表2-1、2-2、2-3に示した。表2-1から、子育て支援センターの職員が、初めてセンターに来た母親に対しては、まずは職員が母親との関係

をつくることで母親同士の架け橋になれると考え、声をかけていることがわかる。母親が何を求めてセンターに来たのか理解することで他の母親との関係づくりに繋げていけると考え、母親の気持ちを引き出せるよう言葉をかけている。表2-2からも、母親の気持ちを推察して、他の母親と繋かれるよう積極的に声をかけている様子が見られる。表2-3からも同様に、初めて来た母親が輪の中に入れていけるよう、細やかに配慮し声をかけていることがうかがわれる。

表2-1 「言葉がけによるきっかけづくり：初めて来た人への言葉がけ」
に該当するAセンター職員のインタビュー回答

…一人で初めて利用して下さる方というのは…とても不安な気持ち…かなって…思うんですね。なので、その不安なまま帰ることがないように、また来たいなって思ってもらえるような関わりを…心掛けています。…初めて利用されている方は…お母さん自体が何を求めてこういうところを利用しているのかっていうこともよくわからないし、とにかく始めは母親と…私たち…[の]関係ができるようにコミュニケーションを…とることで…そのお母さんの様子…とか…理解して、それからお母さん同士の懸け橋に…っていう風に…初めて来た人っていうのはやっぱり[お母さんたちの輪に]入りにくかったりするので、…私たちが関わっていかないと、…子どもと一対一のまんま帰ってしまうと、…心地よい環境ではたぶんないかなって思うので、そうするとたぶん…また来たいって…やっぱりあんまり思わないかなって思うので、やっぱり私たちが声かけて…お母さんの…気持ちだとか…引き出しながら…そういったこと[輪に入ること]が苦手な方には私たちから話をして…その日のうちにある程度…センターに馴染める感じで話しかけをしますかね…私たちが話をしていく中で[ここに来た理由を]捉えていくことで…うちのセンターとの繋がりをつくってあげられると思うし、他のお母さんとの関係もつくってやれると思うので…

—：筆者の強調 []：筆者の補足 …：省略

表2-2 「言葉がけによるきっかけづくり：初めて来た人への言葉がけ」
に該当するCセンター職員のインタビュー回答

…だんだん場数を踏んでくると、この人どういう目的でここに来たのか察せるわけよ、たぶん…親子でちょっと座って遊びながらゆっくりしたい、涼みたいとかね、そういうお母さんもいればそのまま見守る。でもこの人やっぱりなんかしゃべりたいんだろうとか、何か誰かと繋がりたいんだろうなって察したら、「ちょっとこっちへいらっしゃい、同じくらいの子がいるわよ」って連れてって。…コーナーに座って、ポンっと入って、「何歳？何歳？」とか言って「最近どう？」みたいなことはする。あえてね…

—：筆者の強調 …：省略

表 2-3 「言葉がけによるきっかけづくり：初めて来た人への言葉がけ」
に該当するDセンター職員のインタビュー回答

…初めて来る人がすごく不安っていうかね、4月頃来るときは…いいんだけど…秋頃になると…みんながこう仲良くしているから…グループができていいのかしらとか、なんかちょっと入りづらさを感じる…だから…できるだけ、そのお母さんが、不安にならないように、お母さんも不安になると、子どもも不安になるからね…私たち保育者が…フォローする…ご飯を食べるときに一人ぼっちにならないように…「誰々さんのお母さんのところに一緒に座ってみましょう」とか声をかけて…あるいは…お子さんと同じ年[のお子さんをもつお母さんを紹介したり]…このお母さんだったらこのタイプのお母さんだったら…入りやすいかな、っていうことを配慮します…[以前]一人で来たお母さん[で]…不安でいた思いを[経験している方に]声をかけたりします…そうすると、「ああ、私もそういう経験があるから一緒に食べましょう」とかっていう風に、言ってくれたりはするかなと思いますね。そんな風に、気をつけて…います。

__：筆者の強調 []：筆者の補足 …：省略

「言葉がけによるきっかけづくり：母親同士の会話が始まるような言葉がけ」に該当するインタビュー回答を表 3-1、3-2、3-3 に示した。これらから、子育てセンターの職員が、母親の住所や出身地、子どもの年齢などの情報を添えて母親を紹介することで、母親同士の会話が始まるきっかけを提供できるよう配慮していることがうかが

われる。同じ立場にある人は共感しやすいだろうと考え、母親同士の共通点を知らせたり、また、「(子どもが) 最近寝ない」といった悩みに別の母親がコメントできるよう問いかけたりしていることもわかる。表 3-3 から、話題を提供した後は母親同士で話せるよう、職員はあえて離れて見守るといった配慮をしていることもうかがわれる。

表 3-1 「言葉がけによるきっかけづくり：母親同士の会話が始まるような言葉がけ」
に該当するAセンター職員のインタビュー回答

…立場が同じ…人って…共感したりとかしやしい…かなって…思って、たまたま…お母さんがボロって言ったこと[から]…「[こちらの]お母さんも県外から来た方なんですよ」とかって言いながら…私たちが知っている情報をちょっと提供することで…私たちが…離れたときも…「県外どっから来たんですか？」という感じで話しやすかったりとかなると思うので…きっかけづくりをちょっとできればいいなという風には思ってますね…タイミングを見計らって母親同士の架け橋となるような言葉がけだとか働きかけだとかしてる…

__：筆者の強調 []：筆者の補足 …：省略

表 3-2 「言葉がけによるきっかけづくり：母親同士の会話が始まるような言葉がけ」
に該当するBセンター職員のインタビュー回答

…「どどこに住んでる方で、あのお子さん何歳になるんですよ」とか、「一人目のお子さんなんですよ」とか、「同じ月齢ですね」…そうやってこうお母さん同士を繋げてって、お母さんたちがお話しできるようにして…います。…「何々ちゃんっていうんですよ」とか、…「同級生ですよ」とか、…言葉がけと、雰囲気づくりを…していますね。…母親同士の関係を…「お子さん一緒ですよ」とかそういう感じで繋げてきたんですよ。

__：筆者の強調 …：省略

表3-3 「言葉がけによるきっかけづくり：母親同士の会話が始まるような言葉がけ」
に該当するCセンター職員のインタビュー回答

…「お母さん最近どう？」ってお話をして…「最近寝ないんです」とか言ったら、「お宅も同じくらいのお子さんだけどお？」って言って話を…コーディネートして…私たちはそれだけでいいじゃない？あとは二人でしゃべっちゃう。もう私たちは行かない…

—：筆者の強調 …：省略

3. 「環境構成によるきっかけづくり」に該当するインタビュー回答内容とその考察

「環境構成によるきっかけづくり」に分類されたインタビュー回答は、さらに「製作などの遊びのコーナーの設定」「交流がうまれやすい適度な大きさのスペースづくり」「親子の写真の掲示」に分類された。

「環境構成によるきっかけづくり：製作などの

遊びのコーナーの設定」に該当するインタビュー回答を表4に示した。表4から、子育て支援センターの職員が、おもちゃづくりなどの場所を設定しておくことで、親子が気軽に集まることができ、それによって母親同士の会話も生まれやすくなると考え、そうした環境構成上の工夫を行っていることがわかる。

表4 「環境構成によるきっかけづくり：製作などの遊びのコーナーの設定」
に該当するCセンター職員のインタビュー回答

…必ず、お遊びとか、手づくりおもちゃとかをつくるコーナーがあるんだけど、それは単なるきっかけづくりに過ぎなくて、例えば今…は…七夕とかの飾りをつくる…そういう風に、手づくりおもちゃにしても、お遊びのおもちゃの環境にしても、お母さんたちを繋げやすい…場所提供とか、教材提供をして…敷居を低くしながら、おしゃべりとか、繋げてくってというのは、意識してやっていますね

—：筆者の強調 …：省略

「環境構成によるきっかけづくり：交流がうまれやすい適度な大きさのスペースづくり」に該当するインタビュー回答を表5-1、5-2に示した。これらから、「嫌でも隣にいたら話ができる」あ

まり広すぎない適度なスペースが、母親同士の交流をうむのに有効であると捉え、重視していることがうかがわれる。

表5-1 「環境構成によるきっかけづくり：交流がうまれやすい適度な大きさのスペースづくり」
に該当するAセンター職員のインタビュー回答

…母親同士の関係性を見ていると、自分に合う、自分と雰囲気と同じような人をうまく見つけて関係をつくっているように…思います。そういう点からも当センターはとても広いわけではないんですけども、とても話しやすい広さでもあるのではないかなと…思っています

—：筆者の強調 …：省略

表5-2 「環境構成によるきっかけづくり：交流がうまれやすい適度な大きさのスペースづくり」
に該当するBセンター職員のインタビュー回答

…このスペース…そんなに広くなくて…10人親子が入ればもういっぱいってようなスペースで、あの、嫌でも隣にいたら話ができる…スペースだから、…誰かと特に親しいってわけでもなくて…ここに来たら、誰かいるかもしれないから、行ってみようみたいな、今日は何々君来るかなとか…誰かがいるかな、誰かいたら一緒に遊ぼうみたいな…最近みんながそういう感じで…お母さんたちも、別に誰にあげるってわけでもなくて、ご実家で採れた農産物を…誰かきついているだろうから、あげようとか…おすそ分けしたりって感じが[が]…ありますね…

—：筆者の強調 …：省略

「環境構成によるきっかけづくり：親子の写真の掲示」に該当するインタビュー回答を表6に示した。表6から、子育て支援センターの職員が、壁面に親子の写真や情報を掲示し、来館した他の親子が掲示を見てその親子との関わりをもつこと

ができるよう配慮していることがわかる。表3-1、3-2、3-3で見たような母親同士の会話が始まるきっかけづくりを、環境構成をいかして行っていることがうかがわれる。

表6 「環境構成によるきっかけづくり：親子の写真の掲示」
に該当するBセンター職員のインタビュー回答

…[イベント]登録していかれる方は「あ、次も来よう」とか、「ここにまた遊びに来たいな」って思っている方なので、そういう方には一応許可を得て…親子の写真を撮らせていただいて…[壁に]貼って…名前と…誕生日が見えるようになっていて、ぱっと見て…お母さんたちも「何々ちゃんって言うんだ、あ、月齢一緒なんだ」って感じで…話しやすくなったりっていう環境も[つくっている]…お母さんたちから「あ、貼っていたで嬉しいです」とか[言われる]…ことが…[あり]ますね。

—：筆者の強調 []：筆者の補足 …：省略

4. 「グループづくり・イベント開催」に該当するインタビュー回答内容とその考察

「グループづくり・イベント開催」に分類されたインタビュー回答は、さらに「いろいろな人と交流できるようなグループづくり」「共通点のある母親が集まれるイベントの開催」「楽しい体験を共有できる機会づくり」「母親同士が声を聴き合う機会づくり」に分類された。

「グループづくり・イベント開催：いろいろな人と交流できるようなグループづくり」に該当す

るインタビュー回答を表7に示した。表7から、子育て支援センターの職員が、センターに来る母親が新たにいろいろな人と関わりをもつことができるよう、あえてグループをつくるといった工夫をしていることがわかる。しかしながら、初対面の人と同じグループになって食事をするとしたことへの抵抗感を示す母親が増えてきたという語りもあり、職員がこうしたやり方に難しさを感じるようになってきていることもうかがわれる。

表7 「グループづくり・イベント開催：いろいろな人と交流できるようなグループづくり」
に該当するDセンター職員のインタビュー回答

…いろんな人と…ママ友になれるように…今日は学年別ランチをしましょう…くじ引きランチをしましょうとか、クマのカードもったら…クマのグループで食べるとか…それ[が]…お母さん主体の交流会を行っている時代は楽しみだったの…だけど、それが、だんだん…ごほんぐらいは好きな人と食べたい、っていう風になって、そういう風に変わってきてるんだ、緊張して食べたくないとか、知らない人と食べなくてもいいって…

—：筆者の強調 []：筆者の補足 …：省略

「グループづくり・イベント開催：共通点のある母親が集まれるイベントの開催」に該当するインタビュー回答を表8に示した。表8から、子育て支援センターの職員が、共通点のある母親たちは、同じ悩みをもって相談し合ったり、思いを共感し合ったりできる関係へと発展していけると考

え、母親からのリクエストに応じて、共通点のある母親が集まれるイベントを積極的に開催していることがわかる。それがサークルの結成や母親たちの自主的な活動に発展することもあると語られていて、たいへん興味深い。

表8 「グループづくり・イベント開催：共通点のある母親が集まれるイベントの開催」に該当するCセンター職員のインタビュー回答

…交流[を]求めて来るお母さんたち[に]どんな交流[を]したいかをヒアリングして、イベントをつくっていますね…例えば、「アラ4ママを集めてください」って言ったら、アラ4ママの会をすぐ開催しますし、「双子ママを集めてくれ」と言ったら双子ママの会…「25歳以下のお母さんを集めてくれ」と言われれば、そのお母さんたち[を集めて]、「保育園これからどうしようかなと悩んでるママを集めてくれ」ってなればそういうお母さんたちと…最初は顔も知らない、お互い知らなくても、同じ共通の話題をもつことで、だんだん近い関係になって…悩みを相談したり、一緒に思いを共感したりして、いい友達関係ができていますね。その後は…上手くいけば、その会からサークルに発展したりして、自分たちで集まって何かしようっていう自主的な活動にも繋がってますね…

—：筆者の強調 []：筆者の補足 …：省略

「グループづくり・イベント開催：楽しい体験を共有できる機会づくり」に該当するインタビュー回答を表9に示した。表9から、子育て支援センターの職員は、楽しい体験を共有することで、母

親同士が自然と話せるようになり、関係がつくられていくと考え、そうした機会の提供を重視していることがわかる。

表9 「グループづくり・イベントの開催：楽しい体験を共有できる機会づくり」に該当するBセンター職員のインタビュー回答

…無理やりお母さん同士の関係をつくらうとしないで…イベントなどを通して、同じ体験をすることで…楽しさを味わってもらって、その中で、自然に話せるようにして…いくような働きかけをしています

—：筆者の強調 …：省略

「グループづくり・イベント開催：母親同士が声を聴き合う機会づくり」に該当するインタビュー回答を表10に示した。表10から、子育て支援センターの職員は、母親たちがお互いの話を聴き合う機会をつくることで、あとで母親同士の会話がはずむようなきっかけをつくれたり、母親同士の相

互理解が図られたりすると考え、そうした機会づくりを行っていることがうかがわれる。初めて参加する母親が多い場合には、自己紹介となるような話題を取り入れるといった配慮を行っていることもわかる。

表10 「グループづくり・イベントの開催：母親同士が声を聴き合う機会づくり」
に該当するAセンター職員のインタビュー回答

…イベントの中で、母親から一言言ってもらおう…母親の生の声を直接聴く中でお互いの思いや考えを聴くことができるようにして、そのことが話のきっかけづくりに役立ったりお互いの理解に繋がっていったらという思いからイベントに取り入れています。…毎月テーマを決めていて…月のテーマは夏の予定…にしてみても…お母さん方から言っていた感じですかね…初めての子育て親子が多い[場合は]…自己紹介となる内容を入れて互いを知ってもらえるようにしています。…インタビュー形式にするときには、「何々ちゃん何か月ですか?」とか「ごきょうだいはいますか?」っていう風にその日の[参加者の構成]…を見ながら質問内容を変えることで…お互いを知ってもらえるようになるのかなという風に思っています。…自由な時間になったときに、たぶん、お母さん同士で、「ああ、あそこいいよね」…「こうだよ」とか[会話が続く]…「お家でどんなことして遊んでいますか?」みたいな簡単なテーマであれば…お母さん方同士がたぶんまた「この前あそこ行ったらよかったよ」とかっているような話のきっかけづくりにもなったりもするから…イベントの中に…お母さん方の生の声を聴ける…ものを取り入れるようにしています

—：筆者の強調 []：筆者の補足 …：省略

5. 「母親の主体的な活動へのサポート」に該当するインタビュー回答内容とその考察

「母親の主体的な活動へのサポート」に分類されたインタビュー回答は、さらに「それぞれの母親が得意なことをいかせる機会づくり」と「母親たちの主体的なサークル活動へのサポート」に分類された。

「母親の主体的な活動へのサポート：それぞれの母親が得意なことをいかせる機会づくり」に該当するインタビュー回答を表11-1、11-2に示した。これらから、子育て支援センターの職員は、

それぞれの母親が得意なことをいかしながら活躍できる機会づくりにも配慮していることがわかる。表11-1からは、資格取得の時点から母親を支え、取得後には教室開催を支援し、そのことが「すぐ予約がいっぱい」になるほどの母親たちの交流の場をうむことに繋がっていることがうかがわれる。また、表11-2からは、母親たちが互いに得意なことをいかして生き生きと活躍できることで、共感し合い支え合える関係へと発展していけることがうかがわれる。

表11-1 「母親の主体的な活動へのサポート：それぞれの母親が得意なことをいかせる機会づくり」
に該当するBセンター職員のインタビュー回答

…スクラップブッキングっていうのがあるんですけど…[ある]方が、この支援センターに遊びに来てくれたときに…「[スクラップブッキングを教える]資格を取りに行きたいんだけど、一時預かりを利用できますか?」って話があったんです。「じゃあどうぞ、一時預かりを使って資格を取ってください」って言って…一時預かりを利用して…資格を取ったんですね…[その後]…教えてみたい、せっかく取ったんだから、だけど、家で教室を開くのは、まだ難しい…場所も必要だし…お子さんがいる方を対象にすると、子どもの保育も必要になるってことで…相談を受けまして…園長先生とも相談をして「じゃあ一度やってみたらどうかな」って…それを一応やったんですよ…それ[=スクラップブッキングの教室の開催]を…[このセンターで]支援をして、もうほんとに10年ぐらい経つんですけども…すごい人気のイベントで…すぐ予約がいっぱいになりますね

—：筆者の強調 []：筆者の補足 …：省略

表11-2 「母親の主体的な活動へのサポート：それぞれの母親が得意なことをいかせる機会づくり」
に該当するDセンター職員のインタビュー回答

…出産する前からいろいろな仕事をもって…専門性をもっているお母さんたちもいる…そういったお母さんたちが、子育て中でも自分たちの中でできることを…大勢の人と一緒に楽しめる…機会をつくってあげたいなっているものが1つありました。…自分の特技がいかせて嬉しかったとか。例えばね…ギターが好きなお母さんがいて…私がピアノ[の]…伴奏入れて…ちょっとミニコンサートのことをやるとか。歯科衛生士のお母さんが…自分が勤めていたところの…歯医者さんに行って、模型の…おっきい歯[をもってきて]…歯ブラシこやって磨きましょうね、って…やるとか、っていう風に…お母さんが…いままでやっていた趣味だとか…仕事だとか、そういうものを、子育て中の同じ仲間の人たちに伝え合う…そういったことをやったりしたんです。そうするとお母さんたちがすごく生き生きとして、意欲的で、楽しかったっていうことが非常に多かった。…そうすると…お母さん同士、共感したり、支え合える…

__：筆者の強調 []：筆者の補足 …：省略

「母親の主体的な活動へのサポート：母親たちの主体的なサークル活動へのサポート」に該当するインタビュー回答を表12-1、12-2、12-3に示した。表12-1、12-2からは、子育て支援センターの職員が、センター内につくられたサークルの活動内容を母親たちが自分たちで決めたり準備したり進行したりできるようにサポートしていること、そうした活動過程の共有や活動後の達成感が母親同士の関係をつくっていくと捉えていることがうかがわれる。ただし、表12-2からは、Dセンターの職員が現在、こうした主体的な活動を敬遠する母親たちの気持ちを感じとり、難しさを感じていることも推察される。

表12-3では、表12-2からうかがわれる内容と

は対照的に、熊本出身の母親たちが、熊本地震後にサークルを結成し主体的に社会貢献活動を展開していく過程が語られている。表12-3に引用した部分には十分に示されていないが、Cセンター職員は最初から一貫して母親たちの相談にのるなどしながらこの活動を支えていた。母親たちが困難に立ち向かい、目的を共有し、互いをさげ出し合いながら深い関係を築いていき、支援を受ける側から支援する側へ成長していく過程をCセンター職員が称え、そこにエンパワーメントを目指す子育て支援の意義を感じていることがうかがわれる。職員の人生観、子育て支援観と深く関連しているようにも思われた。

表12-1 「母親の主体的な活動へのサポート：母親たちの主体的なサークル活動へのサポート」
に該当するBセンター職員のインタビュー回答

…0・1・2歳児の…サークル[が]いくつかあるんですけど…その中で…リーダーさんを決めていただいたりして、サークル[に]…集まった方で…一年間の活動内容を決めています。…活動内容を…考えて…子どもと一緒に、お母さんたちが主体的になってできる…環境…を…提供しています。…決めた内容が実現できるように、私たちがサポート…していますね。

__：筆者の強調 []：筆者の補足 …：省略

表12-2 「母親の主体的な活動へのサポート：母親たちの主体的なサークル活動へのサポート」
に該当するDセンター職員のインタビュー回答

…お母さん主催の交流会っていうのがあって、それは…[子育てサークルに来る親子を]…8つの班に分けて…ABCDEFGHまでであるとすると、Aのお母さんは、じゃあ4月の交流会を考えてください、Bのお母さんは5月をっていう風に…お母さんたちが子育て中にやりたいこと、あるいは、お母さんたちが…できること[を聞いて]…そこに、そのお母さん同士の共感だったり、支え合えるものが育つのではないかとということでやりました。…それをやっていることによって…子どもの好きな遊びを見つめなおすことができたとか、あるいは、いままで話せなかった人と…お話をすることができたとか、あるいは、準備をするとか…会を進めていくことがなんか意外と楽しかった…[といった感想が聞かれた]…交流会…[を]準備するときも、お家にもってってやってくれる人も非常に多くって…じゃあAさんの家に集まるとか…「先生、楽しくやってきました」とかね…お母さんたちがすごく協力的だったのね…こちらが提供するだけではなくって、お母さんたちが、自分たちの中でやりたいことをやれる、こう達成感みたいなものって大事なことなんだなと思いました…ところがここ2年間は…集まって話したり…企画するとか、準備することってことがあるのなら、ちょっとここ[=このセンター]へはどうしようかなって迷う声が聞こえてきたの…やっぱり…時代の流れがあるんだなって…今は、お母さんたちがどんなことをしたいかっていうのを聞いて、それを、こちらで企画してやるようにしていますね。…

—：筆者の強調 []：筆者の補足 …：省略

表12-3 「母親の主体的な活動へのサポート：母親たちの主体的なサークル活動へのサポート」
に該当するCセンター職員のインタビュー回答

[熊本地震の後にセンターからの支援も受けながら自主的に募金活動を行った熊本出身の母親たちが]…夏休み[に熊本に帰って]…その悲惨さを見て…やっぱり、山梨だって起きるんだから、もっと防災について見てきたもの伝えなきゃねって話になって、○○○○[=子育てサークル名]ができて…防災シアターとか、防災のワークショップとかを企画し始めたの。…お母さんたちに[災害時]ちっちゃい子がいるときにはどういう風に…したらいいとかかシミュレーションをして教えてくれたりとか、おんぶの仕方とか、そこら辺にある布でこうやってどうやってやるとか、そういうのを実践で教えてくれたりとか。結局、支援される側だった…子たちが、…支援者グループをつくり、そして、最終的にはうちのスタッフになりました。すばらしいでしょ？…エンパワーメントってよく言うけど、私たちからすると、おこがましくも、エンパワーメントの育成みたいなものをしているんだけど、彼女たちにしてみれば、困難なことがあったからこそ、関係づくりができて、同じ目的、自分たちの気持ちをさ、しっかりさらけ出したからこそ繋がれたわけじゃない…そしてサークルができ、社会貢献だよ、ミッションだよ…そういうことが私的にはものすごく嬉しかったし…

—：筆者の強調 []：筆者の補足 …：省略

6. 「子ども同士の関係への配慮」に該当するインタビュー回答内容とその考察

「子ども同士の関係への配慮」に分類されたインタビュー回答は、さらに「子ども同士が仲良く遊べるような配慮」と「子ども間でトラブルがあった際のサポート」に分類された。

「子ども同士の関係への配慮：子ども同士が仲

良く遊べるような配慮」に該当するインタビュー回答を表13に示した。表13から、子育て支援センターの職員は、子ども同士が仲の良い関係にあることが、母親同士の良好な関係に影響すると捉え、子ども同士が仲良く楽しく遊べるよう配慮していることがうかがわれる。

表13 「子ども同士の関係への配慮：子ども同士が仲良く遊べるような配慮」
に該当するBセンター職員のインタビュー回答

…母親同士の関係がよくなる中の1つに、お子さん同士の関係をよくすること[がある]…自分の子どもが、他のお母さん、お子さんと遊んで楽しんでしている姿を見ると…お母さんも嬉しい…話もね合って[きたり]…するので…[お子さん同士が楽しそうに遊ぶ]姿を大切にするようにしていくと、「母親同士の関係も」良好になっていくのかなと…思います。…「うちの子たちは電車が好きだから、じゃあ一緒に電車に乗って遊びに行きますか?」とか…そういう関係をつくってたりとか…

__：筆者の強調 []：筆者の補足 …：省略

「子ども同士の関係への配慮：子ども間でトラブルがあった際のサポート」に該当するインタビュー回答を表14-1、14-2、14-3、14-4に示した。表14-1、14-2からは、子ども間のトラブルによって、母親同士の関係が崩れることのないよう、母親の気持ちを受容し対応していることがうかがわれる。子ども同士のトラブルがきっかけで、相手の母親の子育ての仕方に不満を感じたり、母親同士率直に言い合えないことでストレスを感じたりするといった事態が生じやすいこと、そのため、職員は母親の感情を敏感に察知したり、言いづらい部分を代弁したりして、仲介役を果たしていることがわかる。

また、表14-3、14-4からは、トラブルを起こすことの多い子どもの母親が集団の場を避けて孤立してしまうことのないよう、トラブルを起こしながら子どもが集団の中で育っていくことの大切さを母親たちに熱心に伝えていることがわかる。トラブル時に子どもへどんなふう言葉かけたらよいか例示して助言したり（表14-3）、子どもの行為の意味や発達について説明したり（表14-4）、双方の母親の不安を受け止め応えたり（表14-4）、それぞれの母親の個性を考慮して言葉を選んだり（表14-4）などして丁寧に対応していることがうかがわれる。

表14-1 「子ども同士の関係への配慮：子ども間でトラブルがあった際のサポート」
に該当するAセンター職員のインタビュー回答

…子ども同士のトラブル[時に]…母親の関わりの違いから…不安げであったりとか納得できていない様子…[を母親の]表情等から感じることがあります。そういうときは、母親同士の関係が…ぎくしゃくしないように仲立ちとなって関わるように…していますね…

__：筆者の強調 []：筆者の補足 …：省略

表14-2 「子ども同士の関係への配慮：子ども間でトラブルがあった際のサポート」
に該当するBセンター職員のインタビュー回答

…[5歳の男の子がその子の母親が見ていないところで3歳の子を何回もたたき、それを見ていた3歳の子の母親が5歳の子を注意した後、3歳の子の母親から相談を受け]…「すみませんでしたね」って…お母さんに謝って。そして…5歳の男の子のお母さんに[3歳の子の母親からの話を伝えて]…やっぱり母親同士の…関係性が…そんなに深いものじゃない…自分の子も…よその子も…叱れるっていうまでの関係性じゃないから…言いづらい部分もあったりするんですけど、だからって言って…関係が悪くなるのは[嫌なので]…またあの子いるからっていう風に思ってしまうの…お互い嫌なんで、…ちょっとした言葉がけで解決できるようなことは、支援センターの職員もこう入って行って、言いにくいことをこちらが伝えてあげて、話をするようにしています…言いにくい部分は言ってあげる必要があるかなって…言えなくてお母さんがストレスを抱えちゃうのは…いけないし…自分と違うお母さんたちを見て…自分に合わないなって思えば行かなくなってしまうので、そういうことはね、大切にしているかな…

__：筆者の強調 []：筆者の補足 …：省略

表14-3 「子ども同士の関係への配慮：子ども間でトラブルがあった際のサポート」
に該当するCセンター職員のインタビュー回答

…けんか、取り合いっこ[を]する[と]…お母さんたちは…「貸してあげなきゃダメじゃない」「とっちゃダメでしょ」とか言って体裁を繕いながら…なるべく触らず、当たらず付き合っていくんだけど、そうじゃなくて思いっきりやらせて、どうやってその折り合いをつけていくのかっていうのを勉強したほうがいいから、私たちは、けんかをしている子どもたちのところに喜んで行くんです。…それでお母さんに…って言うてみたら？とかって支援[＝アドバイス]をするのが私たちの役目ですね。…お母さんは、最初は、「もうこの子トラブルばかり起こすから、支援センターも来ないし誰とも付き合わない」とか言うんですけども、「いやいや、そうじゃなくって、ここに来て、あえてトラブルを起こして、そして、子どもたちがどうやって子どもたち同士で折り合っていくかを、お母さんたちと勉強する場なんだから、どんだんけんかして、取り合いっこすればいいんじゃない？」って。…けんかをすればするほど出て来なさいって。大変な子ほど出て来てって…

—：筆者の強調 []：筆者の補足 …：省略

表14-4 「子ども同士の関係への配慮：子ども間でトラブルがあった際のサポート」
に該当するDセンター職員のインタビュー回答

[すぐお友達を嘸んでしまうA君の存在で、A君の母親も周囲の母親たちも不安になってしまったときに、A君の母親には]言葉がうまくしゃべれな[くて]…自己主張をどうしたらいいかって[いう中で]…嘸んだりっていうことが出てくるので、その時期は、お母さん大変ですが、必ず近くにいてあげてください、私たちも保育者も…サポートします。なので、ここに…来ないっていう風な…[結論は]出さないでください、来ることによって、お友達と関わって、そこで学ぶ。学んでる最中なので…集団から離すのではなく…その子がお友達とどう付き合うのかというのを親子で学んで…いくことが大事だから、お家に引きこもったらダメだと…[周囲の母親には]…成長発達していく中[で]…その子もずっと嘸む、っていう行為をするわけではないので…もう少し…1歳2歳の子どもたちに対しての温かい目で見守りをしていただきたい、そのかわり、私たちも、必ずそこはサポートさせていただくので[と]…そんな風に、気持ちをこう受容して。…オブラートに包んで、優しく伝えたほうが…浸透しやすい人もいれば…はっきりと言ってあげたほうが…気持ちよく受け止めてくれる人もいたりする…

—：筆者の強調 []：筆者の補足 …：省略

7. 「母親の個性をふまえた配慮」に該当するインタビュー回答内容とその考察

「母親の個性をふまえた配慮」に分類されたインタビュー回答は、さらに「他の母親と関わりたがらない母親へのサポート」「他の母親との関わりに不安を感じる母親へのサポート」「自分らしさを出せない母親へのサポート」「発達の差に不安を感じる母親へのサポート」に分類された。

「母親の個性をふまえた配慮：他の母親と関わ

りたがらない母親へのサポート」に該当するインタビュー回答を表15に示した。表15からは、Cセンターの職員が、「一人で大丈夫」と言って他の母親と関わりたがらない母親も本当は他の母親との関わりを求めていると考え、その母親が心を開くことができるよう、時間をかけて、「心配している」「待っている」というメッセージを送り続けていることがわかる。

表15 「母親の個性をふまえた配慮：他の母親と関わりたがらない母親へのサポート」
に該当するCセンター職員のインタビュー回答

…「私なんて一人で大丈夫だもん」っていう人もいっぱいいるんだよね…一人で生きていくってことが自分の自由を保障するって…考え方は確かに今の若者と今の私たちってそれが正論になってるよ…けど、それは実は傲慢じゃん…それを崩すっていうところがね、私たちの支援者かなって。一人では生きていけないだよ、独りぼっちじゃないんだよって、もっと甘えていいんだよ、もっと助けられ上手になろうよみたいなのところだよ、強がってる人に限って、もっと関係が欲しいって思っている人もいるしね…やっぱいきなりほんとは友達欲しいんでしょなんてとても言えないから、まあ、時間だよ…最初バリア強い高いから、最初触れないの。でも私あなたのこと心配してるわよってことをオーラっていうと変だけど、そういう空気を出しつつ、でも、あんまり話さないでくれてオーラが出てから最後に帰るときにまた来てね、待ってるからねって、気をつけて帰ってね。よく来たねっていうのが結構キーワード…

—：筆者の強調 …：省略

「母親の個性をふまえた配慮：他の母親との関わりに不安を感じる母親へのサポート」に該当するインタビュー回答を表16に示した。表16からは、Dセンターの職員は、子育て支援センターへ来ることができない母親への支援こそ必要であると考え、いじめを受けた経験から、対人関係に過度の不安を感じる一方で、子どもにはお友達をつくっ

てあげたいと願う母親に対し、電話をかけてセンターに来ることを促し、そばに寄り添って、他の母親との関係づくりをサポートしていた。心理面で困難を抱える母親にも、その心情や状況に細やかに配慮し、関係づくりを支援していることがうかがわれる。心理面のケアに関わる高度の専門性が求められるものであると推察される。

表16 「母親の個性をふまえた配慮：他の母親との関わりに不安を感じる母親へのサポート」
に該当するDセンター職員のインタビュー回答

…こういうところへ来るのがすごく不安な…お友達をつくるのが不安なお母さんがいて、でも、子どもにはお友達をつくらせたっていうお母さんがいたんです。…そのお母さんは学生時代ずっといじめられて[いて]…人に対しての…不安を…隠せない…大勢のところ[では]…いつも見られているような気がして、不安で不安で仕方がなくて、来れなかった…。その方の知り合いの人[からその方の存在を聞き]…一回電話で話したんですね…大勢のところ[が]不安で怖くて仕方がないんだって言ったから…私が補いますから、一度来てみてくださいって言って、できるだけ…近くで、お母さんに声かけたり、お母さんとその子のところに入って、他のお母さんとの関係役に[=仲介役を]してあげる…[徐々に]このお母さんはこういうタイプの方なんだなって…私自身が理解できたの、…お母さんに合いそうなお母さんを…紹介…だけじゃなくて、ちょっと近づいて一緒にこう仲間で遊べるように雰囲気をつくって、そしたらね…楽しくなって、来れるようになったの…少しずつ…人との関わりがもてるようになってきたんです… [支援センターに]来れない人はいっぱいいて、来れない人こそ支援してかなければいけない…

—：筆者の強調 []：筆者の補足 …：省略

「母親の個性をふまえた配慮：自分らしさを出せない母親へのサポート」に該当するインタビュー回答を表17に示した。表17からは、Cセンターの職員が、センター外での母親同士の関係の健全化にも配慮して関わっていることがわかる。断る勇気、嫌われる勇気がないために、母親同士の関係

が苦しいものになってしまっている母親に、勇気をもって自分らしさを出すよう促していることがわかる。さらに、自分らしさを出すためのワークショップなども実施していることがうかがわれ、注目に値する。

表17 「母親の個性をふまえた配慮：自分らしきを出せない母親へのサポート」
に該当するCセンター職員のインタビュー回答

[電話に]出ないと嫌われちゃうかしら、とか思ったりするのよ。お母さんたちは…。でも、すごく重荷になっちゃって…結局何がいけないって彼女が嫌われる勇気がないからなんだよね…「夜中起こされて辛い」「ご飯つくって子どもと遊んでるのに長電話されるの辛い」…[でも断れないのは]「嫌われたくないから」…いやいやいや…ここであなたがあなたらしきを出すとその人には嫌われて切れちゃうかもしれないけども、あなたに合った人が寄って来るから、それを切らない限りずっとあなたはあなたらしきを出せなくて…近づいて来ない、あなたの欲しいと思う人がって伝えたい。…自分がどういう子育てしたいか、どう生きたいのかを主張しないもんで、ずるずる巻き込まれて、すごい人間関係ぐしゃぐしゃになって…たぶん彼女はすごく優しくして、思いやりがある人で、人のためになりたいって思ってる人だけれども、それじゃあ、あなたはずっとそのまま人のために生きるの？って話じゃない…だから…自分を出すワークってのもやっていますね。自己認識ワークみたいのも…断る勇気とか、嫌われる勇気がないと…

—：筆者の強調 []：筆者の補足 …：省略

「母親の個性をふまえた配慮：発達差に不安を感じる母親へのサポート」に該当するインタビュー回答を表18に示した。親子同士の交流の中では、わが子と他の子の発達差に不安を感じる母親も

当然あらわれるだろう。表18から、子育て支援センターの職員が、そうした母親に対し、不安や焦りを取り除くような関わりも行っていることがわかる。

表18 「母親の個性をふまえた配慮：発達差に不安を感じる母親へのサポート」
に該当するBセンター職員のインタビュー回答

…子どももそれぞれだし、お母さんもそれぞれだから…離乳食とか、トイレトレーニングとか…うちはこうやってできるからこうやりなさいとかじゃないし…お母さんたちで「うちは、その子と…同じ年齢で、月齢なんだけど…同じようにやってもできない」…っていうそういう焦りもある人はあるんだけど…それで不安になるときはこちらに聞いていただけるので…「お母さんそんなに気にしないで大丈夫ですよ」とか、こうお母さんたちの不安をまず私たちが取り除いてあげるようにして…絶対間違っていることはないし、絶対これは正しいってことはないし…できるようにね、なりますよ…安心できる言葉がけとかをするように…していますけどね。

—：筆者の強調 …：省略

8. 「関係構築の基盤となる母親の心の安定への配慮」に該当するインタビュー回答内容とその考察

「関係構築の基盤となる母親の心の安定への配慮」に該当するインタビュー回答を表19に示した。表19からは、子どもや母親を大事に思う職員の関わりによって母親の心が満たされ、それこそが母親同士の人間関係づくりの基盤になるのだという

Dセンター職員の信念がうかがわれる。「私たちがお母さんを大事に思うと同じように、お母さんたちも…[周りの]お母さんたち、あるいは…違ってお母さんのお子さんたちすべてを大事に思って[くださる]…そこが…お母さん…たちの人間[関係]づくりの…基礎の部分に値する」という言葉が興味深い。

表19 「関係構築の基盤となる母親の心の安定への配慮」
に該当するDセンター職員のインタビュー回答

[子ども]を温かく迎え…ること[で]…お母さん…が…人間関係を築く、一番の基礎のところか…穏やかに…なるというか、そこにぬくもりを感じる…、その基礎を大事にしてあげる…[そのことによって]お母さん…も、相手のお母さんを大事に思ったりする。私たちがお母さんを大事に思うと同じように、お母さんたちも…[周りの]お母さんたち、あるいは…違うお母さんのお子さんたちすべてを大事に思って[くださる]…そこが…お母さん…たちの人間[関係]づくりの…基礎の部分に値するかなと思って努力しています…。なので…お母さんたちの…悩みとかそういったものを…感じてあげること…お母さんたちの理解を日頃からしていくことが非常に大事なかなと思いますね。…必ず私の中で心がけていることは、全員のお母さんに声をかける。…それは挨拶から始まって…子どもたちを常に観察したときに…「この子この前よりこんな事ができるようになったな」…っていう…その子の成長を…見てあげて、それをともに喜んであげる…喜んであげるためには自分から発信しなくちゃいけない…こちらから声をかけてあげることによって「あ、先生はそんな風に見ててくれたんだ」「じゃあ今度先生に困ったときに悩みを打ち明けてみようか」とか…っていう風に…お母さんとその先生の距離感…が…縮まってくる…親子が笑顔あふれる、そういった時間を、私たちが提供できるようにしてあげたいなって…

—：筆者の強調 []：筆者の補足 …：省略

IV. 総合考察

本研究では、子育て支援センター職員へのインタビューを通して、母親同士の関係づくりのために子育て支援センター職員が行っている配慮や工夫について具体的に明らかにしていくことを試みた。

母親同士の関係づくりのために子育て支援センターの職員が行っていた配慮や工夫は、表1に見る通り多岐にわたっていた。それらは大きくは、「言葉がけによるきっかけづくり」「環境構成によるきっかけづくり」「グループづくり・イベント開催」「母親の主体的な活動へのサポート」「子ども同士の関係への配慮」「母親の個性をふまえた配慮」「関係構築の基盤となる母親の心の安定への配慮」にまとめられた。

「言葉がけによるきっかけづくり」については、子育て支援センターの職員は、初めて来た母親に対し、まず職員が母親との関係をつくることで母親同士の架け橋になれると考え、何を求めてきているのか気持ちを引き出そうと声をかけたり、気持ちを推察して他の母親と繋がれるよう声をかけたり、輪の中に入れるよう細やかに配慮し声をかけたりする様子うかがわれた（「初めて来た人への言葉がけ」）。また、ある母親を別の母親に紹介したり、母親同士の共通点を知らせたりすることで会話が始まるきっかけを提供し、その後はあ

えて離れて見守るといった配慮をしている様子うかがわれた（「母親同士の会話が始まるような言葉がけ」）。この職員の「言葉がけによるきっかけづくり」は対象となったすべての子育て支援センターのインタビュー回答にみとめられた。

「環境構成によるきっかけづくり」については、手づくりおもちゃのコーナーの設定など、親子が気軽に集まることのできる環境構成を行ったり（「製作などの遊びのコーナーの設定」）、広すぎないスペースがかえって母親同士の交流をうむのに有効だと考え、適度なスペースを重視したり（「交流がうまれやすい適度な大きさのスペースづくり」）、壁面に親子の写真や情報を掲載することで、母親同士の会話が生まれるきっかけづくりを行ったり（「親子の写真の掲示」）していることがわかった。母親同士の交流をうむきっかけづくりとして、環境構成上の配慮も重要であることがうかがわれた。

「グループづくり・イベントの開催」については、子育て支援センターに来た母親がいろいろな人と関わりをもつことができるようあえてグループをつくったり（「いろいろな人と交流できるようなグループづくり」）、母親からのリクエストに応じて、共通点のある母親が集まれるイベントを積極的に開催したり（「共通点のある母親が集まれるイベントの開催」）、楽しい体験の共有や、互いの話を聴き合うことが関係づくりに繋がると考

え、そうした機会の提供を行ったり（「楽しい体験を共有できる機会づくり」「母親同士が声を聴き合う機会づくり」といった工夫を行っていることがうかがわれた。

「母親の主体的な活動へのサポート」については、それぞれの母親が得意なことをいかしながら活躍できる機会をつくったり（「それぞれの母親が得意なことをいかせる機会づくり」）、子育て支援センター内につくられたサークルの活動内容を母親たちが自主的に決め、準備や進行もしていけるようサポートしたり、子育て支援センター内での出会いをきっかけに母親たちが自主的にサークルを結成し、社会に向けて活動していくのを長期にわたって支援したり（「母親たちの主体的なサークル活動へのサポート」）していることがうかがわれた。主体的に活動し他者に貢献できること、活動過程を共有したり活動後に共に達成感を得たりすることが、母親の関係性構築に重要であると職員が捉え支援していることがうかがわれるとともに、このサポートの現状については子育て支援センターによる個性もみとめられた。主体的な活動への敬遠を母親たちから感じとっている子育て支援センターもあれば、母親たちの主体的な活動がとても活発に展開されている子育て支援センターもあった。母親たちは、各子育て支援センターの特色を見て、訪れる子育て支援センターを選択しているものと推察された。

「子ども同士の関係への配慮」については、子ども同士の関係が母親同士の関係に影響すると捉え、子どもたちが仲良く楽しく遊べるよう配慮したり（「子どもが仲良く遊べるような配慮」）、子ども間のトラブルによって母親同士の関係が崩れることがないよう、職員は、母親の感情を敏感に察知したり、言いづらい部分を代弁したりすることで仲介役を果たしていることがうかがわれた（「子ども間でトラブルがあった際のサポート」）。この「子ども間でトラブルがあった際のサポート」は、対象となったすべての子育て支援センターのインタビュー回答にみとめられた。子どものトラブルによる母親同士の関係性悪化や孤立化の回避に、職員がとくに注意を払っていることがうかがわれた。「子ども同士の関係への配慮」は、職員の保育者としての専門性がとくにいかされるもの

であり、それぞれの職員の子ども観、発達観、保育観などに裏打ちされたものであるように思われた。

「母親の個性をふまえた配慮」については、他の母親に心を開くことができず、他の母親と関わりたがらない母親に時間をかけて働きかけたり（「他の母親と関わりたがらない母親へのサポート」）、いじめを受けた経験から対人関係に過度の不安を感じる母親に細やかに配慮したり（「他の母親との関わりに不安を感じる母親へのサポート」）、断る勇気をもてないために母親同士の関係に苦しんでいる母親が自分らしさを出せるよう応援したり（「自分らしさを出せない母親へのサポート」）、わが子と他の子の発達の差に不安を感じる母親に不安や焦りを取り除けるよう関わったり（「発達の差に不安を感じる母親へのサポート」）していることがうかがわれた。場合によっては、心理的な困難を抱える母親が対象となることもあり、心理面のケアに関わる高度な専門性が求められていることがうかがわれた。

「関係構築の基盤となる母親の心の安定への配慮」については、子どもや母親を大事に思う職員の関わりが、母親の心を満たし、それが母親同士の人間関係の基盤となるという職員の信念がうかがわれるものであった。

最初のきっかけづくりから、子育て支援センターの外でも続くような深い関係づくりへの支援、子どものトラブルによる母親同士の関係性悪化や孤立化の回避、母親の心の奥深くに触れるような支援まで、職員の配慮・工夫は多岐にわたっていた。

今回は、子育て支援センターの職員のみインタビューを実施したが、今後は、センターを利用している母親へのインタビューも行い、今回確認されたセンター職員の配慮・工夫が母親の関係構築にもたらす効果についても検討していけたらと思う。

<引用参考文献>

- 厚生労働省雇用均等・児童家庭局長（2017年4月3日）
地域子育て支援拠点事業の実施について。
- 厚生労働省（2007）地域子育て支援拠点事業実施の
ご案内。
- 中山満子 池田曜子（2014）ママ友関係における対
人葛藤経験とパーソナリティ特性との関連性 パー
ソナリティ研究 第22巻 第3号, 285-288.
- 杉江栄子（2010）子育て支援センターにおける環境
構成のあり方：母親同士の関係性を構築する視点か
ら 愛知教育大学幼児教育研究 第15号, 25-32.

付記

本論文は、山梨学院短期大学研究倫理規程に基づく
「人の研究に関する研究倫理審査」により承認された
(承認番号2017041)。

